


整理番号	HT27005	分野	生物・自然	キーワード:生態、生物多様性
------	---------	----	-------	----------------

北海道大学

のぞいてみよう海の底、北海道の魚たちをまるごとリサーチ

先生(代表者)	宗原 弘幸(むねはら ひろゆき) 北方生物圏フィールド科学センター・准教授			
自己紹介	海の極前線と呼ばれる暖流と寒流がぶつかる北海道の海は生物量が豊富です。環境変動に敏感な海域でもあり、環境科学の研究最前線です。北海道に生息する魚類を材料に「調査」や「研究」を体験し、将来の進路を考える機会にしてみたいと考えています。			
開催日時・ 主な募集対象	平成 27 年 8 月 1 日(土) ～8 月 2 日(日)	(対象)	小学 5・6 年生、中学 生・高校生	(人数) 15 名
集合場所・時間	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター臼尻水産実験所		(集合時間)	10:00
開催会場 (集合場所)	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター臼尻水産実験所 住所:〒041-1613 函館市臼尻町 152 アクセスマップ: http://www.hokudai.ac.jp/fsc/usujiri/usujiri.html (「利用者へ」に記載あり)			
内 容				
<p>表層には暖流が、その下には寒流が流れる北日本の海にくらす生き物たちのルーツは極東ロシアやアラスカなどにあります。そのため、関東以南には生息しない寒い海に適応した仲間たちが主役です。今、地球規模で進行している急速な温暖化による生息温度の変化や南方からの生物の侵入のため、北日本に生息する生物は、その子孫の維持が困難になる可能性があります。</p> <p>暖流に乗ってやってくる南の魚(クロマグロ、マンボウなど)と、北海道に定着している(メバル、カレイ、カジカ、アイナメ類など)を教材に、実験とシュノーケリングによる観察や採集を体験し、海洋生物学の重要性と面白さ、そして海の恵の大切さを伝えたいと考えています。</p>				
スケジュール				持 ち 物
8 月 1 日(土)	10:00～10:10	北方生物圏フィールド科学センター臼尻水産実験所にて受付		水着 バスタオル 就寝用品
	10:10～11:30	開校式、フィールドの説明と講義(北海道の魚について)、科研費の説明		特 記 事 項

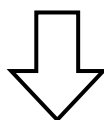
11:30～12:00	自己紹介	心肺循環器系疾患がない方。 参加にあたっては、保護者の同意が必要です。 食費など、若干の実費がかかります。
12:00～13:00	昼食	
13:00～14:00	シュノーケリングの準備	
14:00～17:00	シュノーケリングによる水中観察と地引き網 ①	
17:00～17:30	夕食後の実験の説明	
17:30～18:30	夕食	
18:30～20:00	種査定①（地引き網で採集した魚類）	
20:00～22:00	フリートーク/風呂	
22:00～	就寝	
8月2日(日)		
6:00～8:00	定置網の水揚げ見学	
8:00～9:00	朝食	
9:00～10:00	種査定②（定置網で採集した魚類）	
10:00～12:30	（天気がよければ、シュノーケリングによる水中観察 ②）	
12:30～13:30	昼食	
13:30～14:30	発表会準備	
14:30～16:00	発表会	
16:00～16:30	アンケート・未来博士授与式	
16:30	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	臼尻水産実験所・ 宗原 弘幸(むねはら ひろゆき)/宮島 侑也(みやじま あつや)
住所：	〒041-1613 函館市臼尻町 152
TEL 番号：	0138-25-3237(事務室)/5088(研究室)
FAX 番号：	同上
E-mail：	usujiri@fsc.hokudai.ac.jp
申込締切日：	平成 27 年 7 月 24 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
宗原 弘幸	H25-27	基盤研究(B)	25304011	親潮流路にある島嶼生物の側所的進化と適応放散-極東域生物相形成史の解明を目指して



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。